

「いすみ市自殺対策推進計画(案)」に関するパブリックコメントの実施結果

市では、「いすみ市自殺対策推進計画(案)」について、広報いすみ(12月号)やホームページ等でパブリックコメントを募集しました。その結果、2人の方から2件の意見が寄せられました。いただいたご意見及びこれに対する市の考え方は以下のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

No.	ご意見等	市の考え方	修正等の有無
1	【重点施策3】無職者・失業者対策の「就労に向けた相談支援等の充実」について、意見を申し上げます。 一読したところ、無職者・失業者なおかつ健康で障害があるとは医師から認められなかった人は、本人が希望しているとはいえ、就業支援についていきなりハローワークに紹介されるように見受けられます。 しかし、いきなりハローワークなどで仕事を紹介されても、長期間孤立していたような人は、紹介された仕事を行おうとしても、適応障害などを引き起こす可能性があるのではないのでしょうか？ シルバー人材センターのような短期や日雇に近いような仕事に希望者が参加できたり、そういった仕事を斡旋するような事業者とも、提携できるようになったら、よいのではないのでしょうか。 長期間孤立していた人に「すぐに週5日働け」と言われるかもしれないとプレッシャーを与えるよりは、中間のステップのような働き方が分かりやすく示されているのであれば、相談する側も気が楽になるかもしれない、と思います。	自殺のリスクが高い無職者・失業者では、離職、長期間失業等、就労条件や経済的な問題を抱えている場合があります。特に勤労世代の無職者・失業者は、相談や支援体制に配慮が必要と考えます。具体的な取組については、いただいた意見を参考にしつつ担当課と共有し、各課で連携し支援します。ご意見ありがとうございました。	無

2	1. 愛情を無限に与えること。 2. 本人が人様のために、何か役に立つことをしていただくこと。 3. 市役所が直接手を出さないこと。	自殺は、その多くが追い込まれた末の死です。その背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立など様々な社会的要因が原因となります。市は、市民の皆様が、生きることに困難をかかえる人々に対し、早期の「気づき」ができ、適切な支援につなげていけるような人材育成事業に努めてまいります。ご意見ありがとうございました。	無
---	--	---	---

問合せ先 健康高齢者支援課 健康づくり班 （電話） 6 2 - 1 1 6 2